

認定こども園 ひだまりの家第二星の子
令和7年度 施設関係者評価 報告書

1. 園の教育目標

<教育・保育方針>

- ・子ども一人ひとりを大切にせる教育・保育
- ・子どもたちのより良い今と未来につながる生きる力を育む

<具体的な目標>

- ・主体的・意欲的に行動できる力を身に付ける
- ・遊びや活動を通して総合的な生きる力を育む
- ・社会の一員として望ましい資質（社会性）を育む
- ・基本的生活習慣の自立を育む

2. 施設関係者評価委員会の総評

令和8年2月5日に評価委員6名が同席の上公開保育を実施するとともに、今年度の本園における目標と取り組み状況の聞き取りを含めて施設関係者評価を行った。

ひだまりの家第二星の子は、子どもや保護者が安心して過ごせる居場所として、家庭や地域とのつながりを大切にした支援が行われていると感じました。日々の関わりの中で、利用する子どもや保護者一人ひとりの思いや状況に丁寧に寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりに努めている様子がうかがえます。子どもたちは落ち着いた雰囲気の中で、自分らしく過ごしながらさまざまな経験を重ねており、その姿からも温かな関わりと見守りの積み重ねが感じられました。

また、保護者に対しても日常的なコミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築き、子育てに関する不安や悩みに寄り添う姿勢が見られます。さらに、地域の方々との関わりを通して、人と人とのつながりが自然に生まれる場となっており、地域に開かれた拠点としての役割も果たしています。

今後も、子どもの育ちを中心に据えながら、家庭や地域とともに支え合う温かな居場所として、その取り組みがさらに広がっていくことを期待しています。